

機構長挨拶



機構長 理事(教育担当)・
副学長 鶴原 清志

令和3年度より全学教育組織・体制が再編され、全学共通教育の全体構成や内容編成、さらには全学共通教育と学部専門教育との関係性や連続性、独自性などを究明するため、「三重大学高等教育デザイン・推進機構」が立ち上がるとともに、学生総合支援センターが「学生総合支援機構」に改組されました。

「三重大学高等教育デザイン・推進機構」には、全学の共通教育(教養教育)を検討する全学共通教育センター、教員免許等資格に関して検討す

る全学資格プログラムセンター、大学のグランドデザイン答申に基づき本学の教育を検討する高等教育開発デザイン・IRセンター、多面的かつ総合的な評価における入学者選抜方法を検討するアドミッションセンターの4つのセンターを設置しました。

今後、三重大学がより一層社会から求められる人材を育成するために、三重大学高等教育デザイン・推進機構は、全学の協力を得ながら、三重大学の教育のさらなる充実と改革を進める計画です。

Vol.57 新機構特集号

機構長挨拶

全学共通教育センター 紹介

全学資格プログラムセン ター紹介

高等教育開発デザイン・ IR センター紹介

アドミッションセンター 紹介

本センターでは、全学における共通教育(教養教育)の在り方を検討し、令和5年度から、新たな共通教育(教養教育)を全学に展開できるよう、タスクフォース、ワーキングを組織し、議論を重ねています。
(センター長 鶴原清志)

全学共通教育センター 紹介



当機構が入っている総合研究棟Ⅱの正面写真
(2021年6月22日撮影)



三翠会館と樹木
(2021年6月22日撮影)

全学資格プログラムセンター 紹介

本センターは、「三重大で開設する教員免許状更新講習、教職課程(教育学部における教職課程を除く。)及び学芸員養成課程等資格に係る事項について、プログラムの拡充及び質保証に係る必要な措置を講ずること」を目的として設置されました。センター長 玉城政和(教育学部)、副センター長 下村智子(教養教育院)、長濱

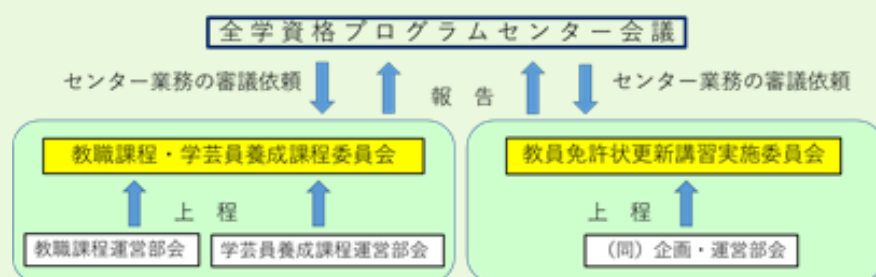
文与(教養教育院)、六角英彰(人文学部)、守山 紗弥加(教養教育院)の5名の兼任教員が所属しています。

センターの目的遂行のために、センター会議の下に各学部から選出された教員で構成される、意思決定機関である2つの委員会と各委員会の下で学部間の意見調整をしながら業務事項を審議する3つの部会

が設置されています。

本センターの役割としては、学生・受講者の側にも立ったプログラムの企画・運営及び点検・評価を行うことが重要になります。そのため、教職員の皆様の御助言を仰ぐ機会も多々あると思います。その折は、御協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

(センター長 玉城政和)



高等教育開発デザイン・IR センター 紹介

本センターは、三重大の教育目標の達成に向けた高等教育の開発、デザイン、及び教育実践について、計画立案及び実行するとともに、その質保証に関する教育諸活動を行うことを目的として設置されました。センター長 荻田修一(生物資源学研究科)、副センター長 長濱文与(教養教育院)、専任教員 黄文哲及び6名の兼任教員が所属しています。

業務として教育施策の策定やデザインを行い、種々のアンケートを実施することで得た情報や学修成績から、本学の教育の評価分析を行います。これらの評価を教育の改善へとつなげて行けるように情報提供を行っています。また、教職員に対するFD/SDを企画運営することで、教職員に必要となる情報を提供します。取得した様々な教学データから、学生の学修に役立つ情報

を提供し、アドミッションセンターとも連携しながら、入学から卒業後まで、学生に寄り添える体制の構築をめざしていきます。このような業務には、教職員と学生の協力が必要となりますので、センターの活動をご理解いただきますようお願いいたします。

(センター長 荻田修一)

アドミッションセンター 紹介

本センターは、入試改善のための調査研究や入試システムの研究開発を中心とする業務を行う「入試情報調査・研究部門」(部門長・人文学部岩崎恭彦)、入試の具体的な方針の策定や選抜方法の開発及び実施などの業務を行う「選抜方法開発・実施部門」(部門長・専任教員宮下伊吉)、高大連携事業の企画、展開及び新たな連携事業の開発や入試にかかわる広報の

企画や実施についての業務を行う「高大接続 部門」(センター長・部門長教育学部藤田達生)の3部門で構成され、兼任教員13名が所属しています。

令和3年度の大学入学者選抜からは、従来の大学入試センター試験にかわり、大学入学共通テストが実施されました。新たな段階を迎え、当センターは高大接続の理念に立った入学志願者のポテンシャルを測る多面的・総

合的な評価の在り方の確立、地方創生や地域の活性化に向けた大学進学在り方などの重要な課題を担っていきます。

当センターは、高大接続事業や入試と入学前後の教育に関わる様々な研究活動を通じて、地域人材を育成し、その成果を三重県各地に還元する、システムや方法の開発拠点としての機能を果たしてまいります。

(センター長 藤田達生)

編集後記

三重大学高等教育デザイン・推進機構ニュースレター「新機構特集号」をお届けします。当機構発足後初めてのリリースですが、前身の「高等教育創造開発センター」「地域人材教育開発機構」から数えると第57号となります。これまでの足跡を大事にしながらも、レイアウトを一新して新しい気持ちで取り組んでいく所存です。引き続き本学の高等教育に関する情報をお届けしてまいりますのでどうぞよろしくお願いします。

お忙しい中、ご寄稿・ご協力いただきました皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。(高等教育開発デザイン・IR センター 黄文哲、教務チーム 川瀬奈津美)



当機構が入っている総合研究棟Ⅱの側面写真
(2021年6月22日撮影)

News Letter vol.57
2021年7月発行

国立大学法人三重大学
高等教育デザイン・開発機構

〒514-8507
三重県津市栗真町屋町 1577
TEL: 059-231-5615
FAX: 059-231-2354
E-Mail:
kyomu-k@ab.mie-u.ac.jp
HP:
<https://www.hedp.mie-u.ac.jp/>